

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韭崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



穴山の社 短期入所生活介護事業所(平成28年4月竣工)

『今、思うこと・・・』

穴山の杜 短期入所生活介護事業所

施設長 野澤佐知子



今年も『穴山の杜』の入り口から駐車場、正面玄関に掛け、両脇の桜が満開の季節を迎えた。『穴山の杜』も開所からはや9年が経過し、今年の10月で10年目となる。開所当初は苗木であった桜の木も、今は幹が太く立派になり、桜の花もたくさん付け、見事な大木となって、訪れてくださる方々の目を楽しませてくれている。我々職員にも改めて季節を感じさせてくれ、東の間の心の休息を与えてくれているようにも思う。

このような季節の中、『穴山の杜短期入所生活介護事業所』は3月26日に竣工式を終え、4月1日オープンを迎え、まさに新入生となった。事業所の一角には、『穴山の杜』が開所した時と同じように桜の苗木が植えられている。まだ花芽もなく、とてもか細い桜の木である。

『穴山の杜』が開所した頃は、私自身も初めて老人施設への勤務となり、右も左も分からず、ただ毎日見るもの聞くものすべてが新しいことばかりで戸惑うことが多かった。その中で介護経験のある職員のやり方、考え方を見て聞いて覚えるのみであり、果たしてそれが入居される方に良い方法なのか考える間も余裕もなく、毎日が早く過ぎ去っていったような気がする。

そのような中、新たに入居されてきたお年寄りやそのご家族はどのような気持ちであったのだろう。もちろん建物自体は新しく、綺麗ではあるが、これまでの生活とは一変した環境であり、そこには生活感がなく、とても不安な気持ちが一杯だったのではないだろうか。

そこで対応する職員も、入居者やご家族にとっては初めての顔であり、これまで生活してきた中での馴染みの関係ではなく、新たな関係に、ここにも不安に感じる要素はあったのではないかと、今となっては思う。

それが日を追うごと、入居者の方々と毎日生活を共にし、同じ空間で過ごし、話をしたり聞いたりし、少しずつではあるが関係が生まれ始めた。また、ご家族の方々とともに情報を共有し、家族の思いを聞く中で少しずつ関係が構築され、現在の『穴山の杜』の形が徐々に出来上がって来たのではないと思う。

『穴山の杜』では、介護老人福祉施設とは別に、空床型短期入所生活介護事業を行ってきた。それは短期入所専門の棟や部屋がある訳ではなく、本来入居されている方々の居室が長期空いた場合（例えば入院であったり、退居から次の入居が決まるまでであったりする……）利用できるものであり、利用する側にとっては何とも利用しにくい短

期入所ではなかったかと思う。それでも有難いことに利用して下さるお年寄りやご家族がおり、在宅生活を支えていく中で、かなり短期入所の需要もあるということも感じてきた。

今回『穴山の杜短期入所生活介護事業所』ができ、短期入所生活介護事業が単独となり、これまでの特養の経験を活かしながら、どのようなサービスが提供していけるだろうか。

基本的には、利用するお年寄りやその家族を支えるために事業は存在している。そのため使い難さがあるとはいえないことだと思う。いつでも気軽に、必要な時にご本人やご家族が安心して利用できるのがサービスなのであろう。また施設であり、専門の介護スタッフがいるのだから、利用する人を選び好みすることもナンセンスである。どんな状態であっても、ご本人、ご家族が求めるのであれば施設として受け入れることは当然のことである。安心、安全に利用できることが大切ではないかと感じている。

『穴山の杜短期入所生活事業所』の立地場所は、穴山郵便局東側、穴山駅にも近い。向かいには、同一法人多機能型事業所・共同生活事業所「わ〜く穴山の里」、南側には韮崎市デイサービス「なごみの郷」があり、事業所が集結している。

人が生活していくためには、さまざまな人達との繋がりがああり、いろいろな社会資源やサービスを利用していかねなければならない。我々のように身動きが取れる場合には、出歩いて自分に必要なものを求めることができる。しかし、高齢者にとってはそのことが難しいが、社会から切り離すのではなくそこに社会を作っていくかなければならない。単にお年寄りだけではなく、さまざまな世代の人、子供も大人も、障がいを持った方も、そして地域の方々が気軽に立ち寄ることができる場所にしていきたいと考える。

庭に植えられた桜が大木になり、桜の花が満開を迎える時、子供からお年寄りまで多くの方が花見に訪れてくれることを夢見て、スタッフと共に仕事に励みたいと思う。そして互いに支え合い、日々の当たり前の暮らしを作っていきたい。

最後になりましたが、設立にあたり多くの方々にご支援いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議員会報告

- 開催日：平成28年 3月19日（土）
開催場所：穴山の杜 集会室
審議事項：第1号議案 平成27年度 補正予算（案）について
第2号議案 平成28年度 事業計画（案）について
第3号議案 平成28年度 予算（案）について
第4号議案 その他



さくら絨毯と土筆

平成27年度第4回目の理事・評議員会が開催されました。

今回の会議において、平成27年度会計に対する補正について審議されました。新事業として開設した穴山の杜短期入所生活介護事業所（穴山の杜ショートステイ）に対する建築が主たる補正で、建築工事も事故無く終了し2月末に引き渡しを受けました。

平成28年度事業計画（案）、予算（案）につきましては、法改正に伴う介護報酬改定に伴う増減や事業拡大に伴う事業計画について各担当者より詳細に説明させて頂きご承認を頂きました。また、穴山の杜ショートステイ開設に伴う諸規定などについて提案し御承認を頂きました。新たな年度がスタートしこれからも円滑な運用ができますよう、法人として対応してまいります。

新年度がスタートいたしました

社会福祉法人 信和会

理事長 栗原 信

この3月31日には、社会福祉法の一部を改正する法律が成立し、4月1日より、改正事項が決まりました。内容といたしましては、

1. 事業運営の透明性の向上
2. 財務規律の強化
3. 地域における公益的な取組を実施する責務
4. 行政の関与の在り方
5. 社会福祉施設退職手当共済制度の見直し、が主なものです。



本部記事でも報告がございますが、理事会、評議員会において、平成28年度社会福祉法人信和会の各施設・事業所の事業計画及び予算が承認されました。

法人としての主な事業計画は、地域包括支援システムの構築に向けて行政機関との連携強化や、わーく穴山の里の新施設の建築、福祉拠点としての役割を認識し地域貢献活動の推進です。この事業計画に基づき、施設、事業所において1年間の計画を実行していくこととなります。当法人の事業計画にもあげました地域貢献活動の推進については、法改正の中でも責務とされておりますので、積極的に進めて参りたいと思っております。

また、社会福祉法人信和会は、皆さまのあたたかいご支援、ご協力に支えられ今年の5月で設立30周年を迎えることとなります。この記念の年に、穴山の杜老人短期入所生活介護事業所が、穴山町の中心にオープンすることが出来ました。この施設も皆さまに大いに活用していただきたいと思っております。今後も地域のニーズに応じ、皆さまに信和会があつてよかつたと言っていただけけるよう、この先10年、20年と前を見据えて進んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

穴山の里だより

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
TEL0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



さくら祭り

4月10日に恒例の「穴山さくら公園祭り」に利用者さん、保護者、職員の計110名で参加しました。地域の方々のアトラクションやフリーマーケットでの買い物を各自楽しみました。仮装コンテストは「一寸法師」をテーマに臨み、努力賞を頂きました。今年は天候にも恵まれ、桜の花も楽しむことができました。「穴山の春」を参加者全員で満喫し、心に残る一日となりました。



～農業班だより～

「短期入所施設 桜の苗木植樹」

3月16日農業奉仕班では4月にオープンする生活介護「穴山の杜」にて20本の桜の苗木の植樹を行いました。将来、桜の名所となり、施設の発展を見守ってくれる事を願っています。



味噌作り



2月10日、今年も恒例の味噌作りを行ないました。朝早くから釜に火を付け、大豆が焦げないようにかき混ぜたり、アクを上手に取ったりと、ベテラン職員が新人職員に「穴山の里」の伝統を伝授しました。利用者さん達も真剣な表情で参加し貴重な体験となりました。今後、2年間味噌を寝かした後に完成となります。美味しい味噌ができるか楽しみです。





実習生の受け入れ

「穴山の里」では毎年多くの実習生を受け入れ、利用者さん達とふれあっていただいております。平成27年度は、聖徳幼児専門学校2名、聖徳短大2名、聖徳大学4名、鶴川短大2名、山梨学院短大11名、帝京短大3名、聖セシリア短大2名、優和福祉専門学校6名 計32名の学生が実習を行いました。穴山の里での実習を糧に社会へと飛び立ってほしいと期待しています。



なかよし会『節分』



お昼に恵方巻きを食べ、夕飯後になんと穴山の里に鬼がやってきました！利用者さん全員で襲い掛かってくる鬼に向い「鬼は外！」「福は内！」と大きな声を出し、豆まきをしました。鬼を退治することができみなさん「楽しかった」「豆が美味しかった」と、とても楽しんでいました。穴山の里に、福が来ます様に！

縄文プロジェクト2016

なかよし会総会



去年の夏、穴山縄文プロジェクトに参加し、土から土器を作る体験をさせていただきました。その土器も長かった乾燥期間を終え、心待ちにしていた野焼き・完成作業へと進んでいきました。半年ぶりに自分の作品と対面した利用者さん達は、自分が作成した作品を思い出したのか、『これ、自分のだ！』と、とても喜んでいました。野焼きの際は、予想以上に熱くて、強い火に自分の土器が割れてしまうのでは？と参加した皆さんが心配していましたが、利用者さん達の作品は誰一人割れることなく、無事に完成する事が出来ました。どの作品も、とても味のある作品に仕上がりと、主催者の方からもお褒めの言葉を頂き、とても満足した一日を過ごすことが出来ました。夏には土器の発掘体験も予定しているという事なので、是非参加させて頂きたいと考えています。

27年度の目標を達成できたかどうか利用者さんが主となり話し合いをしました。27年度は『仲良くする』『廊下を走らない』『トイレを綺麗に使う』『上履きを揃える』『順番を守る』でした。積極的に手を挙げ、(出来てなかった)(今度からちゃんとします)とそれぞれの意見を出し合いました。来年度の目標は『廊下を走らない』『仲良くする』『トイレを綺麗に使う』に絞ることにし、来年度は目標を達成出来る様利用者の皆さんで決めました。



穴山の杜だより

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



「喀痰吸引等研修過程」を終了して

亀フロアリーダー 保坂 晃正



特別養護老人ホームにおける痰の吸引は、平成22年に容認され、翌年の6月に社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正が行われました。更に平成26年に喀痰吸引テキストが再修正改変され、それに基づきこの度「認定特定行為業務従事者認定証」の第一号を取得させて頂きました。この第一号は、登録事業所において口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部の吸引と、胃ろうまたは腸ろう及び経鼻経管栄養の全5項目の医療行為を、医師の指示書に基づき介護士でも行える資格です。

基本研修では医療の倫理を始め、呼吸器系と消化器の専門的な知識や、救命蘇生法や感染症、主である吸引と経管栄養の概論と手順について、計63.5時間とたっぷり学びました。最終日には筆記試験とシミュレーターでの実技試験があり、合格の後は実地研修となります。実地では塩山市民病院に伺い、現役の看護師の指導の下、実際の患者様十数名に対し吸引や経管栄養を実施しました。試験も兼ねていることもあり、緊張の連続でしたが、3日目より次第に感覚をつかむことが出来ました。管の挿入の感覚、音で痰の場所を見付ける等、基本研修では得られなかったことを教えて頂き、とても貴重な5日間となりました。

研修を終えて、今後特養では利用者の重度化が予想されていく中で、介護士が医療行為を担う機会が増えてくると思われます。そうした中でも私たちは利用者の様々なニーズに安全かつ適切に対応出来るよう、知識や体験を習得していく必要があると感じました。今回学んできたことが必要になった時に、しっかり対応出来るようにするのは勿論ですが、また新たに医療行為の枠が広がるようなことがあったなら、次も学ばせて頂きたいという向上心を忘れずに持ち続けたいと思います。

行事食について 栄養士 小野 馨子

ハレの日と呼ばれる年中行事など、季節ごとの行事やお祝い日に、普段と違う特別な料理をいただく行事食。それぞれの旬の食材を取り入れたものが多く、季節の風物詩の一つにもなります。

施設では、4月はお花見御膳、5月は端午の節句に柏餅、6月入梅に梅ご飯、7月七夕に三色そうめん、8月夏祭り、9月敬老の日にお祝いご膳、10月十三夜に栗ご飯、11月文化の日に松茸ご飯、12月冬至に南瓜・柚子料理、1月元旦にお節盛り合わせ、2月節分に鯛・大豆料理、3月春分の日にぼたもちなどを提供しています。

また、地域によってお祝いの仕方が異なるように、伝統食にも地域ごとの違いが見られます。山梨県はひな祭りを4月3日に行なっている為、4月にもひな祭りとしてちらし寿司等を提供しています。食事を見て行事の日がわかるよう、普段と違うと感じてもらえるように工夫をしています。利用者にご感想を伺うと共に、行事食をきっかけに思い出や習わしなどを教えていただき、今後の参考にしていきたいと思っています。

★ 平成28年度 行事食予定表 ★

4月	3日	おひな祭り	【昼食】ちらし寿司・すまし汁・カラフルサラダ・巻
	12日	お花見御膳	【昼食】お花見(お花見御膳・お花見(お花見御膳・お花見御膳))・天ぷら(揚げ・揚げ)
	26日	セレクトメニュー	【昼食】親子丼or牛丼
	29日	昭和の日	【昼食】山菜ご飯・鯛の煮付け
5月	1日	八十八夜	【昼食】茶飯(緑茶葉・鯛の照り焼き・山菜おろし和え)
	5日	端午の節句	【昼食】五日御飯・赤魚の西京焼き・若竹煮・柏餅
	26日	お楽しみ食	【昼食】穴子のせちらしご飯・天ぷら(海老・茄子・南瓜)
6月	10日	入梅	【昼食】梅ご飯
	23日	セレクトメニュー	【昼食】海老フライor豚カツ
7月	7日	七夕の節句	【昼食】三色そうめん・星型コロッケ・オクラと山芋の梅和え
	20日	海の日	【昼食】シーフードカレー・マリンゼリー(ブルーハワイ・カラフル)
	30日	土用の丑の日	【昼食】みょうなご丼・水ようかん
8月	6日?	地域ふれあい祭	【夕食】屋台
	23日	セレクトメニュー	【昼食】未定
9月	9日	重陽の節句	【昼食】さつま芋ご飯・菊のお浸し
	15日	十五夜	【昼食】月見うどん・里芋の煮付け・十五夜団子
	19日	敬老の日	【昼食】栗赤飯・天ぷら・メロン その他メニュー前月検討
	22日	秋分の日	【昼食】おはぎ(あんこ・きなこ・黒ゴマ)
10月	13日	十三夜	【昼食】栗ご飯・枝豆料理・梨
	26日	セレクトメニュー	【昼食】未定
11月	3日	文化の日	【昼食】松茸ご飯・秋刀魚の塩焼き・柿なます
12月	21日	冬至	【昼食】南瓜コロッケ・柚子の和え物・菊蕻(穴子の煮物)
	24日	クリスマスイブ	【昼食】ピラフ・コンソメスープ・鶏肉料理
	26日	クリスマス食	【昼食】にぎり寿司
	31日	大晦日	【昼食】年越しそば(かき揚げ)
1月	1日	元旦	【昼食】お雑煮・おせち盛り合せ・お屠蘇
	2日	お正月	【昼食】お赤飯・海老フライ・枯露柿のなます
	7日	人日の節句	【朝食】七草粥・鶏肉のロール巻
2月	3日	節分	【昼食】鯛料理・大豆とじごの甘煮揚げ
	11日	建国記念日	【昼食】炊き込みご飯
	14日	バレンタインデー	【昼食】ハートコロッケ
	23日	セレクトメニュー	【昼食】未定
3月	3日	桃の節句	【昼食】ちらし寿司・すまし汁
	20日	春分の日	【昼食】ぼたもち(あんこ・きなこ・黒ゴマ)

★行事食には種々の果物を付けて下さい。

すいせん【昼食】10月・12月・2月
お赤飯【昼食】毎月1日(1のみ2日)
太巻き寿司【昼食】月1回
サンドウィッチ【昼食】月1回

「言の葉研究」は第二十四回目となりました。利用者の作品をご紹介します！！

とびっこでいつも一番みんなから選手と言われバトンを持つ

お座敷に新聞敷いて父母餅つき私は井戸に水汲み係

家中が座敷に集まり正座して玉音放送を聞く
七十年前の真夏の出来事子ども心に忘れることはなし

「言の葉研究会」

暑い真夏の日、座敷に家中の人が集まりラジオの前に正座し、玉音放送を聞いた。自分は幼かった為、何のことだか良くわからなかったが、この出来事は今もハッキリと覚えている。戦後七十年を迎え、幼い頃の記憶を歌にしたと話して下さいました。新しく入居された方が同級生であり、部屋は違うが世間話や一緒に食事などをし、楽しく過ごしていると歌にされた方もいます。幼少期の思い出や今思っている事など、職員が知らない昔の事やこんな風を感じているのだなど勉強になり、利用者にとっても職員にとっても良い刺激となります。

十八で知り合っつて結婚した妻空気が同じなければ居られず

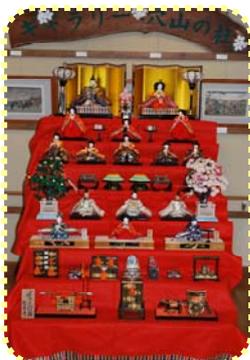
この杜で同級生と思いがけず逢えて嬉しや友達はいい

明日は内科受診日楽しみだ息子に逢えるし寿司も食べられる



桃の節句

施設では8段ひな人形を毎年飾っています。「立派なひな壇だ、綺麗だね」「飾ったり、片付けるのも大変でしょ」と見て楽しまれています。



3月と4月にひな祭り給食が提供されました。ちらし寿司や苺を美味しくいただきました。

4月5日“アンサンブル リバガ” (代表深沢様を始め5名)が、慰問に来て下さいました。朝ドラ“あさが来た”主題歌365日の紙飛行機など新しい歌の披露、めだかの学校・四季の歌・ふるさとなどは利用者も一緒に歌いました。

お楽しみ会



中央線鉄道唱歌は28番まであり、名古屋まで行きますと話(歌の内容)を聴き「おおそんなに!」と驚かれていた方も。やはり武田節は身体に染みついている様で、詩吟までしっかり歌い、一番大きな声が聴かれました。2階と3階で2回参加される方も数人おり、楽しまれた様子！素敵な歌声をありがとうございました。



喫茶店

3月9日喫茶店がオープンしました！こだわりの挽きたてコーヒーはもちろん、シクコアや抹茶ミルク、さまざまな和菓子と色とりどりのロールケーキのデザート付き。「どれがいいかな」と選ぶのも楽しみの1つです。外は寒かったですが、顔見知りの利用者同士や職員との話も弾み、美味しいコーヒーとデザートで心が温まる時間となりました。また、開店する日が楽しみです。

わ〜く 穴山の里だより

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
Tel : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



ともだちの会 (利用者様の自治会) の年度総会を石和健康ランドにて開催しました！

年度報告の後で、今回は役員改選があり新しい役員が選出されました。新役員の中には役員に当選し感激して涙ぐむ方もいました。これから2年間意欲的に活動をしてくださると思います。旧役員の皆さんお疲れさまでした。



山梨・人ねっこアート展に作品を出展しました！



山梨・人ねっこアート展へ見学に行ってきました。利用者の保護者の方々も参加していただき出展した作品の前で記念撮影も出来ました。しっかり記帳もさせていただき出展者の気分も味わいました。



共同 生活事業だより

共同生活事業所 (わ〜く穴山の里内)
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
Tel : 0551-25-5866



沖縄・宮古島の旅行を楽しんできました！



有志をつのって憧れの宮古島へ旅行に行きました。宮古島では開通したばかりの伊良部大橋を渡って島内の名所巡りを楽しみ、途中の自由行動時間には綺麗な海岸で貝殻やサンゴ拾いも楽しんで良いお土産を見つけることができました。



イオンモール甲府へお出かけしました！



グループホームの有志でイオンモール甲府に出かけました。映画を観たり、プリクラを撮ったり、バイキングの昼食を楽しんだり、充実した休日を過ごしました。



特集

新社会人の抱負

今年も多くの新卒職員を迎えることができました。フレッシュな職員の初心の思いをご紹介します

穴山の里：生活支援員 望月祐也（帝京学園短期大学卒）



支援職に就くのは初めてで不安も多々ありますが、分からないことや困ったことはすぐ先輩方に相談して一日も早く仕事を覚えたいです。実習の中でうれしいと感じたことは、利用者の方が笑顔で名前を呼んで接してくれたことです。持ち前の明るさを活かし、施設だけでなく地域の方々の役に立てるような職員を目指します。よろしくお願い致します。



穴山の杜：介護職 遠藤敦美（帝京学園短期大学卒）



高校では介護の勉強をしホームヘルパー2級を取得し、大学では保育士の資格を取るため日々勉強や実習をしてきました。実習を通して人との関わり方や介護技術を学ぶことができました。社会人一年目の新人ですが、持ち前の明るさと努力する力を発揮して、利用者の方、ご家族、地域の方々、職員の皆さんとの信頼関係をいち早く築けるように励んでいきたいです。よろしくお願い致します。



穴山の杜：介護職 林志穂（優和福祉専門学校卒）



私は、社会人として働くことが初めてのことなので不安な気持ちもありますが、利用者さんに笑顔で話しかけ一人一人を理解できるように積極的にコミュニケーションを図りたいと思います。学校で学んだ知識、技術を活かし利用者さんの生活を支援していきたいです。私は楽しいことが好きなのでレクリエーションなどで利用者さんに楽しんで頂ける機会をつくれたらと思っています。



穴山の杜：介護職 西川咲希（優和福祉専門学校卒）



もともと人と関わる仕事がしたかったので、高校・専門学校では介護について学びました。私は、利用者の方の気持ちに寄り添い、またその思いを尊重できるような関わりをしていきたいです。そして職員の皆様に教えて頂きながら一日も早く仕事を覚え、利用者の方、ご家族の皆さんに安心して頂けるような介護福祉士になれるよう頑張っていきたいです。よろしくお願い致します。



穴山の杜：介護職 横田春香（優和福祉専門学校卒）



社会人一年目ということもあり、知らないことも多く不安もたくさんありますが、先輩方をお手本として利用者様の生活介護を頑張っていきたいです。また、専門学校の二年間で学んだことを活かして、日々の介護のなかでより技術を高めて利用者様が安心して生活できるように努めて生きていきたいです。これからよろしくお願い致します。

感謝録

(平成27年12月16日から平成28年3月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

藤田 元・古内保明・川崎武司・岩本富子
島村組・ワタキューセイモア(株)・アルプス事務機
韮崎市・田中邦司・韮崎市社会福祉協議会
フードバンク山梨・中村静子・金子正司
内山哉利・伊藤紀元・守屋稔

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

千野公洋 (太鼓)・阿部光雄 (歌謡)・島津泰子・
長坂泰子・小林秀子・細窪房美 (歌謡協力)・
田中康子 (絵画指導)・足立悦子(ピアノ演奏)・
石澤一恵・飯野祐子 (習字講師)

穴山の杜ショート絵画展示のご案内

この度新設致しました、穴山の杜短期入所生活介護事業所内にて、藤岡純子様(韮崎市出身)と中村静子様(北杜市出身)よりご寄付頂きました絵画コレクションを展示しております。お二人とも韮崎高校第8期生で、同校を卒業、現在に至るまで数々絵画展で入選されております。

ぜひこの機会に寄贈絵画の御鑑賞と県産材を使用した木の香る新施設見学を兼ねてご来訪下さいませようご案内いたします。

特別開催期間 平成28年4月20日～5月10日
午前10時 ～ 午後3時



訪問録

(平成27年12月16日から平成28年3月15日)

☆教育実習 (敬称略)

◎聖セシリア女子短期大学

小倉望実・藤野真帆

◎山梨学院短期大学

河西真純・榊原八重花・高石真由

◎帝京学園短期大学

生山結菜・手塚真莉奈・長倉里奈・鷹山紗江

◎聖徳大学短期大学部

小野原美奈子・湯山美佳

◎彰栄保育福祉専門学校

山田薫・楠 舞

◎日建学院

清水里重

◎三幸福祉カレッジ

堀内秀則

・歌碑を巡る旅・

平成25年に穴山町内の公民館に建立しました、『権藤はなよ』さんの歌碑を紹介致します。今回は、石水公民館です。



『雲雀の子』

編集後記

暖かい日差しの中、今年も多くの皆さんが満開の桜を楽しむことができました。いまは花びらが舞いピンク色のジュータンが敷き詰められているようです。春満喫の季節。

今年度も元気ある新人を仲間を迎えました。経験を積み、より多くの皆さんに福祉のプロとして活躍できるように頑張っと思っています。

(I・Y)